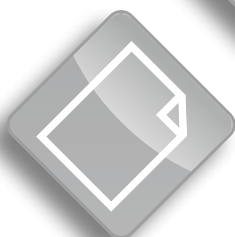
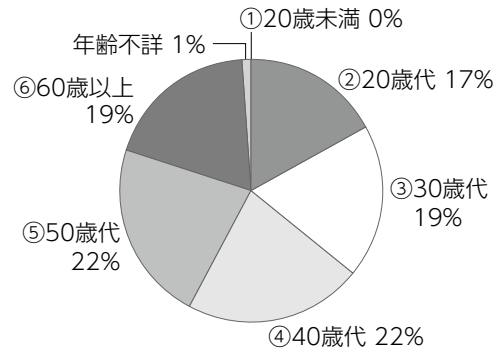


東京会場アンケート 集計結果



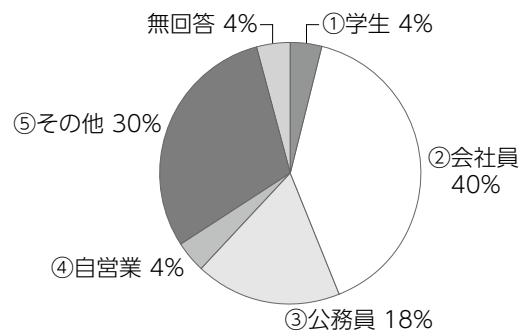
1 年齢構成

① 20歳未満	0人
② 20歳代	18人
③ 30歳代	20人
④ 40歳代	24人
⑤ 50歳代	24人
⑥ 60歳以上	21人
年齢不詳	1人



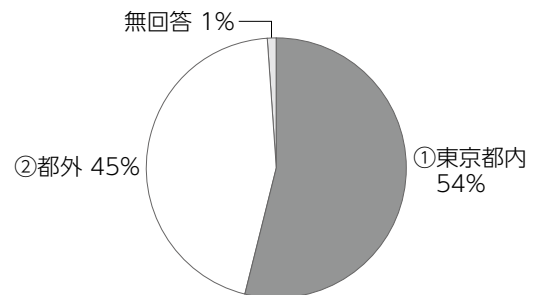
2 職業構成

① 学生	4人
② 会社員	43人
③ 公務員	20人
④ 自営業	4人
⑤ その他	33人
無回答	4人



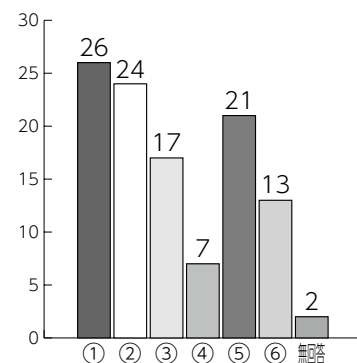
3 住まい

① 東京都内	58人
② 都外	49人
無回答	1人



4 本シンポジウムを知ったきっかけ (複数回答)

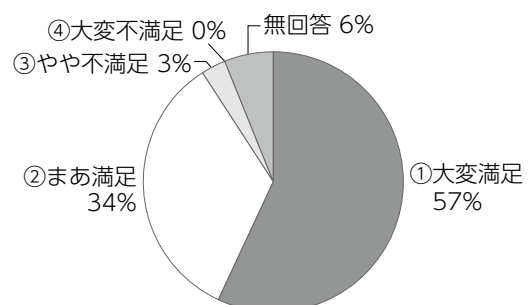
① 新聞広告	26人
② チラシ	24人
③ インターネット	17人
④ メールマガジン	7人
⑤ 知人・家族	21人
⑥ その他	13人
無回答	2人



5 本シンポジウムについて

(1) 全体満足度

① 大変満足	62人
② まあ満足	37人
③ やや不満足	3人
④ 大変不満足	0人
無回答	6人



(2) 自由記入欄より

佐藤かよさんの講演がよかった。自分の話だけではなく、仲間に将来の道筋を残したという点で参考になることが多々あった。自分の知り合いのピアノも将来像がなく、やさぐれていた。最近、名古屋でも大学生のサークルがLGBTをテーマに活動をするようになってきているので、そういう団体にもっと声が届いてほしいと思います。これから「将来」を歩む年代なので!!

荘島先生のお話が特に印象的でした。私は教員現場にいる者です。金八先生等でGIDについては取り上げられるほど、現代では身近になりつつある問題について、子どもたちとしっかり向き合いたいと思っているので、実際にスクールカウンセラーとしてもご活躍されていたので、説得力があり、関心、興味が高まりました。佐藤かよさんの幼少期から現在に至るまでの話をしてくださったことも、大変貴重で思い出すのも苦であろうことについても、明るく講話してくれたのでよかったです。

当事者達を支援するためにどうしたらよいか、また、その当事者達の背景や社会の支援などの制度について知ることができてよかった。パネルディスカッションで、自分では気付かなかった問題点を指摘する方がおり、自分の視野が広まり、大変タメになった。また、性的指向についても、自分ではよく知っているつもりだったが、意外に知らなかったところもあり、理解を深めることができた。

医師（山口先生）のお話が特に良かった。他の研修会やシンポジウムでは実際に医療にたずさわっている方の機会がなかったので満足しています。

柳橋さんのお話が複雑な概念をわかりやすくまとめて頂いたので良いと思います。多少のユーモアもあり、楽しめました。

会場からの質問に、丁寧にお答えいただくようにしていただいたパネルディスカッションはよかったと思います。トークは大変良かったです。

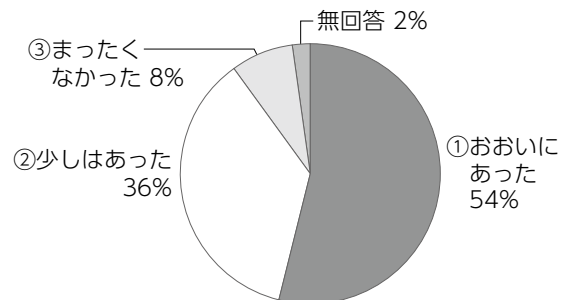
虎井さんのお話が現実的で、わかりやすく思う。ジェンダーの問題ではなく、心に正直に向き合った生き方に共感を持ちます。

GID当事者としては、基礎的なものであまりプラスにはならなかったように感じました。セクシュアル・マイノリティに理解のない方々向けのものと感じました。佐藤かよさんの体験は本当に良かったです。

※主な回答を抜粋

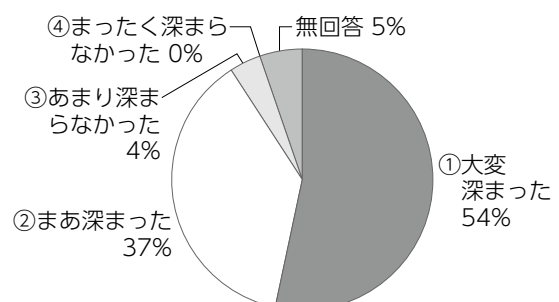
6 本シンポジウム参加以前に、人権問題についてどのくらい関心や理解があったか

① おおいにあった	58人
② 少しはあった	39人
③ まったくなかった	9人
無回答	2人



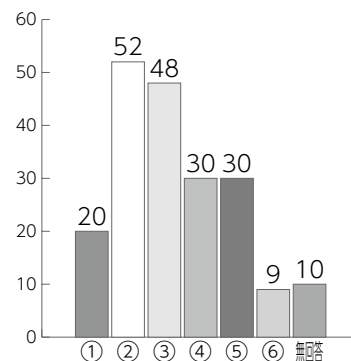
7 本シンポジウムに参加して、人権問題についての関心や理解は深まったか

① 大変深まった	58人
② まあ深まった	40人
③ あまり深まらなかった	4人
④ まったく深まらなかった	0人
無回答	6人



8 本シンポジウムに参加して、何か行動しようと思ったか（複数回答）

① 当事者支援を行いたい	20人
② 人権問題に関心を持ち、偏見を持ったり、差別をしないようにしたい	52人
③ 人権問題について、もっと知識を深めたり、勉強したりする機会を持ちたい	48人
④ 今回のイベントの内容を、友達や家族に説明し、話したい	30人
⑤ ほかの人権問題に関するイベントにも、機会があれば参加したい	30人
⑥ その他	9人
無回答	10人

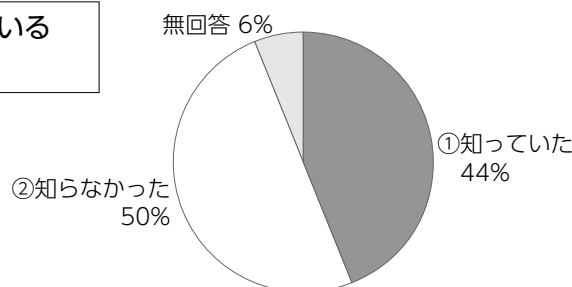


⑥その他の内容

20歳代	<ul style="list-style-type: none"> むしろ当事者の意識を合理的理由をもって批判したいと思うようになった。当事者をぬるまゆ湯につからせるリスクもあると思うので。
30歳代	<ul style="list-style-type: none"> 性同一性障害に関する地方の環境を少しでも整備できるよう協力したい。 当事者としてLGBTの人権活動の活動を行いたい。 既に性的少数者向けの活動をしています。 今回学んだことを意識して日常的に話したい。
40歳代	<ul style="list-style-type: none"> Salon de Canaria として活動中です。 セクシュアル・マイノリティのNPO法人と設立予定 自分の体験も同じ様な状態でしたので、肌で感じて再確認しました。マイノリティの立場の底上げをしたいと思います。

9 国や地方自治体が、広く人権啓発事業を行っていることは知っていたか

① 知っていた	48人
② 知らなかった	54人
無回答	6人



10 今回のシンポジウムについてのご意見や今後開催して欲しいテーマなど（自由記入）

様々な立場から、セクシュアル・マイノリティにアプローチというか、報告することは、ある意味では視野が広がりよいが、「人権」ということであれば、当事者の人にどんなことで困っているか、どんなところで人権を侵害されることがあると感じるのかを話してもらって様々な立場のパネラーや報告者がいても良いのでは。共通の問いや 이슈をいくつか用意し、それぞれの立場から話す等のほうが良かったかも知れません。佐藤かよさんの話だけでも良かったかも。佐藤さんから、いくつかのあらかじめ決めた視点から話をしてもらうフロアも交えてのよりオープンなトーク感覚の時間を設け、その中でセクシュアル・マイノリティの人権について随時掘り下げると、佐藤さんへの話もより生かされると思いました。

国（法務省 etc.）、行政がこのような活動に取り組んでいることが、LGBT当事者として励みになりました。これからも一層の啓蒙・支援活動をよろしくお願い致します。

制度や社会の仕組み、そして法がどれだけ差別や偏見、そして あるいは避けることをしているかが如実に分かった。多数の論理や社会合意形成がどれだけ、一人ひとりが生き活きと暮らすことができるようになるのか考えたいと思う。生活と生きるために、自己を変化させることが余りにも強制されているのではないのか。法は平等だと、あるジェンダー社会学者は言ったが、そうではないことを改めて確認できたことが、今日の収穫である。来てよかったです。

どんな人もあるがまさに、受容することが「人権」という言葉が、とても心に残りました。なんとなく、考えていたことは、そういう概念として規定できるのかと知りました。これからの仕事にも生かしていきたいと思えます。

※主な回答を抜粋

東京会場 広報内容

広報実績

No.	事 項	実施内容
1	新聞広告	<ul style="list-style-type: none"> 読売新聞東京本社版夕刊、朝日新聞都内版・武蔵野版、毎日新聞都内版、日本教育新聞に新聞広告（半5段）を掲載。 <ul style="list-style-type: none"> ○平成24年10月8日（日）掲載 日本教育新聞 ○平成24年10月13日（土）掲載 読売新聞東京本社版夕刊 朝日新聞都内版・武蔵野版 毎日新聞都内版 ○平成24年10月20日（土）掲載 毎日新聞都内版 ※新聞広告の掲載内容等については、159ページ参照。
2	広報用チラシの配布	<ul style="list-style-type: none"> 広報用チラシを関係機関等に配布、掲出を依頼。 <ul style="list-style-type: none"> 東京法務局（500部） 全国の法務局・地方法務局（245部）※東京法務局を除く 東京都及び都内教育委員会（750部） 港区（120部） 東京都内市区（580部）※港区を除く 後援団体（140部） その他、全国の自治体などに配布。 ※チラシ印刷部数：12,700部
3	イベント情報サイトへの 広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> インターネット上のイベント情報サイトに広報記事を投稿、掲載。
4	メールマガジンの配信	<ul style="list-style-type: none"> 本シンポジウムの開催を案内するメールマガジンを計2回配信。
5	人権ライブラリーホーム ページへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> 人権ライブラリーホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。
6	人権センターホームペー ジへの広報記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> 人権センターホームページのイベント情報コーナーに広報記事を掲載。
7	各種ボランティア団体等 への案内メール配信	<ul style="list-style-type: none"> 都内を中心とした各種ボランティア団体等に対して、案内メールを配信。
8	登壇者関係機関ブログ等 に広報記事を掲載	<ul style="list-style-type: none"> 「佐藤かよオフィシャルブログ」に広報記事を掲載。 エイジアプロモーション（佐藤かよさん所属事務所）ホームページに広報記事を掲載。 ナグモクリニックGIDセンター山口悟さんのブログに広報記事を掲載。

新聞広告

人権シンポジウム in 東京

性の多様性を考える

～性的指向と性同一性障害～

入場無料

性的指向や性同一性障害に対する人々の理解は十分とは言えない、偏見と差別にさらされている現状があります。本シンポジウムでは、当事者や研究者、医師の意見を通じて実情を伝え、人権的観点からこの問題の課題と解決のためのヒントについて、皆様と一緒に考えていきます。

シンポジウム

【パネリスト】
荘島 幸子 (独) 国立精神・神経医療研究センター 外来研究員 / 日本学術振興会 特別研究員 / 臨床心理士 / ESTO 東京親子交流会スタッフ / 教育学博士
虎井 まさ衛 FTM日本主宰 / 立教大学非常勤講師
柳橋 晃俊 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアン会の会理事 / 法律サービスディレクター
山口 悟 ナグモクリニック名古屋院長 / GIDセンター長
【コーディネーター】
横田 洋三 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

トークショー 佐藤 かよ (モデル/タレント)

『Re-born～生まれ変わる』体験談や将来について語っていただきます。

【プロフィール】 1988年12月26日生まれ。特技は全国大会第2位の實力を持つ格闘技ゲーム。出身地である名古屋市では女性ファッション雑誌のモデルとしてデビュー。上京後、テレビ番組にて自分が元々男性であることを告白し、一躍世間の注目を浴びる。

【主な出演TV番組】 日本テレビ「ゲーマーズTV 夜遊び三姉妹」
 東海テレビ「ふれサタ」 NOTTV「motty★LIVE」
 MX 東京メトロポリタンTV「Girls TV」

日時 平成24年 **10月28日(日)**
 13:30～17:40 (開場 12:30)

会場 **ニッショーホール**
 東京都港区虎ノ門2-9-16 TEL 03-3503-1486

定員 500名(事前申込制・先着順)
申込方法 郵便/FAX/Eメール
主催 法務省/全国人権擁護委員連合会
 東京法務局/東京都人権擁護委員連合会
 公益財団法人人権教育啓発推進センター
後援 東京都ほか

会場へのアクセス

- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 2・3番出口 徒歩約5分

資料展示

- ・全国の地方公共団体等が作成した人権啓発資料
- ・人権啓発パネル

お申込・お問合せ先

公益財団法人人権教育啓発推進センター 「人権シンポジウム in 東京」事務局
 〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F
 TEL03-5777-1802 (代表) / FAX03-5777-1803 / Eメール event2012@jinken.or.jp
 ホームページ <http://www.jinken.or.jp> **人権シンポジウム 東京** **検索**

平成24年10月8日 朝刊掲載
 日本教育新聞 部数：239,774部

平成24年10月13日 掲載
 読売新聞 東京本社版 夕刊 部数：2,100,317部
 朝日新聞 都内版・武蔵野版 部数：866,786部
 毎日新聞 都内版 部数：229,951部

平成24年10月20日 朝刊掲載
 毎日新聞 都内版 部数：229,951部

東京会場 実施内容の周知

YouTube人権チャンネル



会場風景



柳橋晃俊さんの基調報告



虎井まさ衛さんの基調報告



荘島幸子さんの基調報告



山口悟さんの基調報告



佐藤かよさんのトークショー

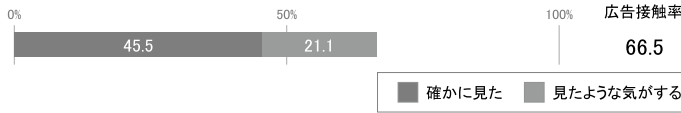


コーディネーターを務めた
横田洋三さん

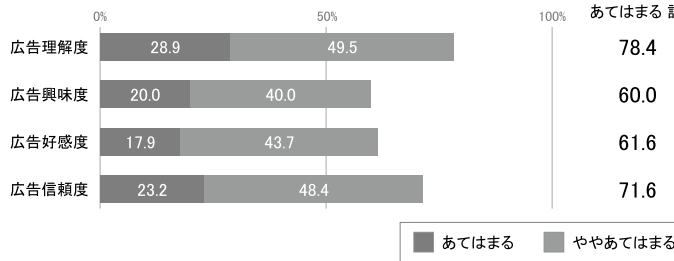
人権シンポジウム in 東京の様子は、YouTube人権チャンネルにおいて、動画を配信した。
<http://www.youtube.com/jinkenchannel>

新聞広告の効果測定結果 朝日新聞

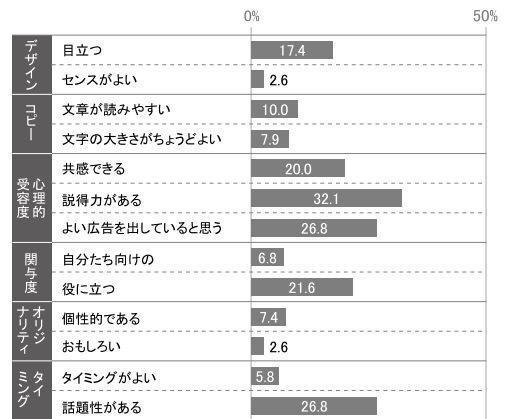
広告接触状況 (有効回答者<新聞購読者> n=209)



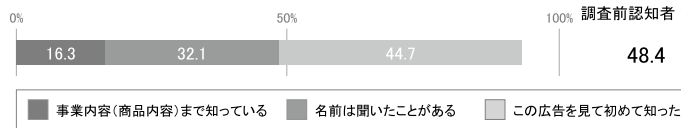
広告評価 (当該刊保有者 n=190)



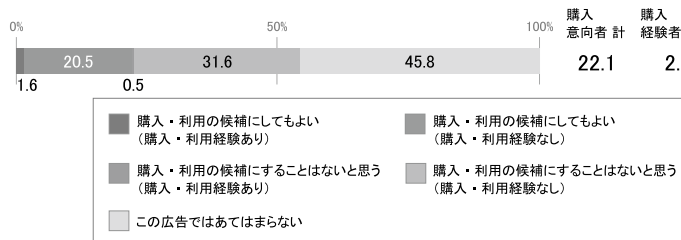
広告の印象 (当該刊保有者 n=190)



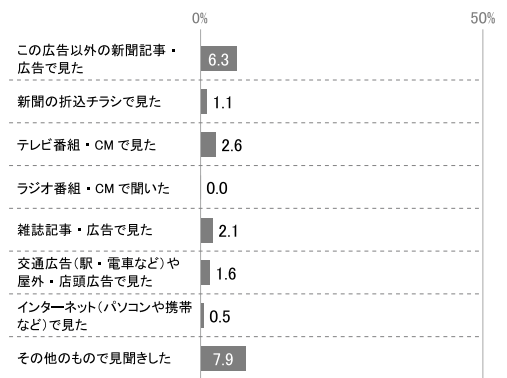
調査前企業(ブランド)認知度 (当該刊保有者 n=190)



広告商品の購入意向・経験 (当該刊保有者 n=190)

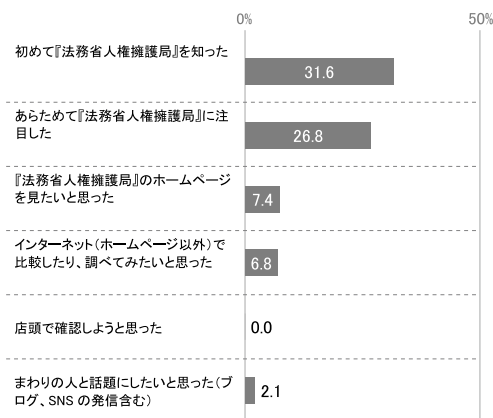


他の媒体での同一内容接触経験 (当該刊保有者 n=190)



接触経験あり 計 16.8

広告による態度変容 (当該刊保有者 n=190)

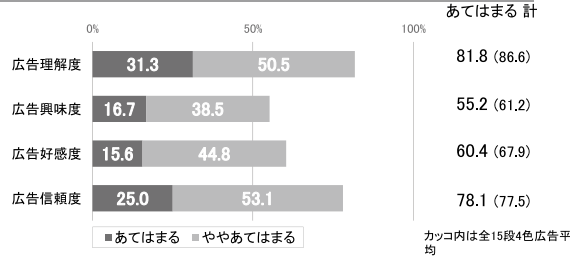


新聞広告の効果測定結果 毎日新聞

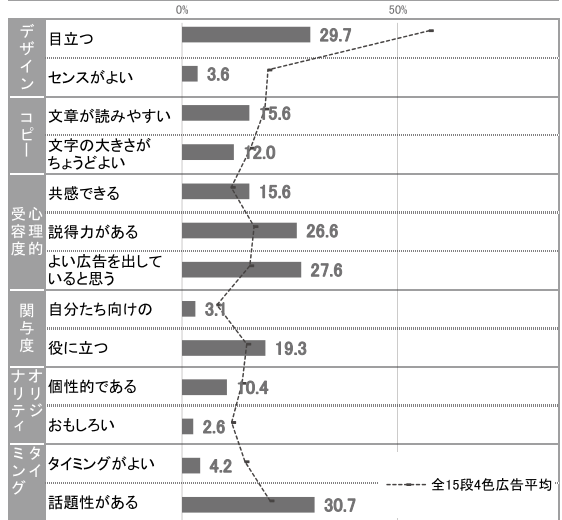
広告接触状況



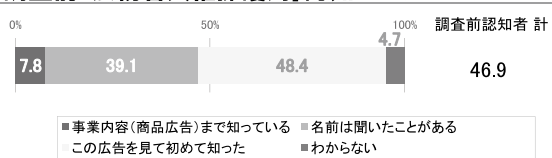
広告評価



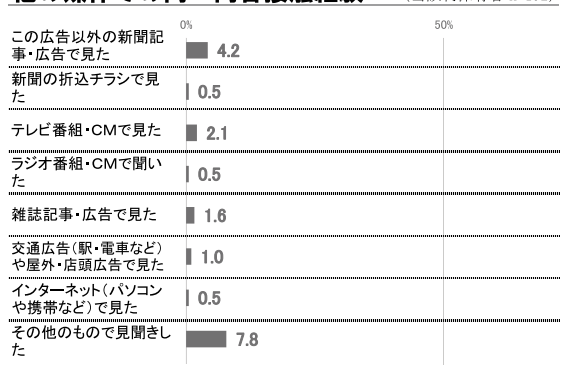
広告の印象



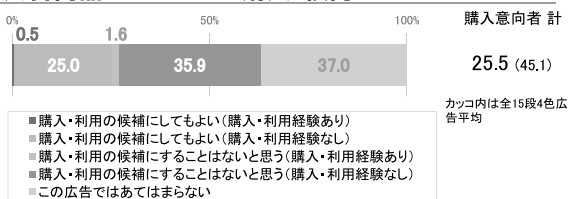
調査前「法務省人権擁護局」認知



他の媒体での同一内容接触経験



広告商品・サービスの購入・検討



広告による態度変容

